

○アプリに使うオブジェクトと入力する関数

手順書の記載箇所	オブジェクト(パーツ)の種類	オブジェクト(パーツ)の名前	OnVisible(表示と同時に実行)
P15 ②-1	画面	screen 1	ClearCollect(ローカル備品リスト,備品リスト)

手順書の記載箇所	オブジェクト(パーツ)の種類	オブジェクト(パーツ)の名前	Text(表示される文字)	Fill(背景色)
P11 ①-2	ラベル	アプリタイトルラベル	"貸し出しアプリ"	任意の色
P11 ①-2	ラベル	ラベル①	"上の表と被ってないか確認してから借りてください。"	
P11 ①-2	ラベル	ラベル②	"貸出期間"	
P11 ①-2	ラベル	ラベル③	" : "	
P11 ①-2	ラベル	ラベル④	"から"	

手順書の記載箇所	オブジェクト(パーツ)の種類	オブジェクト(パーツ)の名前	Items(選択肢やリスト)	DisplayFields (選択肢に参照する列)
P17 ②-3	ドロップダウン	種類選択	Distinct(備品リスト,備品の種類)	
P17 ②-3	コンボボックス	備品選択	/*ギャラリーに載せる貸し出し備品に filter をかけて表示*/ Filter(ローカル備品リスト,備品の種類=種類選択.Selected.Result)	["備品ナンバー"]

手順書の記載箇所	オブジェクト(パーツ)の種類	オブジェクト(パーツ)の名前	Items(選択肢やリスト)
P18 ②-4	日付の選択	予約日	
P18 ②-4	ドロップダウン	予約時	["00","01","02","03","04","05","06","07","08","09","10", "11","12","13","14","15","16","17","18","19","20","21","22","23","24"]
P18 ②-4	ドロップダウン	予約分	["00","05","10","15","20","25","30","35","40","45","50","55"]
P18 ②-4	ドロップダウン	期間	["1 時間","2 時間","3 時間","4 時間"]

手順書の記載箇所	オブジェクト(パーツ)の種類	オブジェクト(パーツ)の名前	OnSelect (触れると実行)	DisplayMode (編集可、不可、表示切替)
P18~19 ②-5	ボタン	借りるボタン	/*借用者リストに貸し出し情報を追加する*/ Patch(借用者リスト,Defaults(借用者リスト), { /*[列名]:保存させたいテキスト*/ タイトル: User().FullName, 備品の種類: 種類選択.Selected.Result, 備品ナンバー:Concat(Sort(備品選択.SelectedItems,備品ナンバー),備品ナンバー & " "), 借用日: Text(予約日.SelectedDate,"[\$-ja]yyyy/mm/dd_") & 予約時.Selected.Value & ":" & 予約分.Selected.Value, 貸出期間: 期間.Selected.Value, 貸し出し状態: "借用中" })	/*備品を選択しないと押せないようにする*/ If(CountRows(備品選択.SelectedItems)>0, Edit,Disabled)

手順書の記載箇所	オブジェクト(パーツ)の種類	オブジェクト(パーツ)の名前	Items(選択肢やリスト)
P21 ②-7	ギャラリー(高さ(伸縮可能、空))	貸出確認ギャラリー	/*借用日でソートをかける*/ Sort(Filter(借用者リスト, And(備品の種類=種類選択.Selected.Result,貸し出し状態="借用中")),借用日)

ギャラリー内に配置				
手順書の記載箇所	オブジェクト(パーツ)の種類	オブジェクト(パーツ)の名前	Text(表示される文字)	
P24 ③-2	ラベル	ギャラリー内ラベル①	ThisItem.借用日 &"から"& ThisItem.貸出期間	
P24 ③-2	ラベル	ギャラリー内ラベル②	ThisItem.タイトル	
P24 ③-2	ラベル	ギャラリー内ラベル③	ThisItem.備品ナンバー	高さの自動調節_オン
P25 ③-3	図形(四角形)	区切り線		
手順書の記載箇所	オブジェクト(パーツ)の種類	オブジェクト(パーツ)の名前	OnSelect (触れると実行)	DisplayMode (編集可、不可、表示切替)
P26 ③-5	ボタン	返却ボタン	<pre>/*list に保存済みのアイテムを更新する*/ Patch(借用者リスト, LookUp(借用者リスト,ID=ThisItem.ID), {貸し出し状態:"返却済"})</pre>	/*自分以外は押せないようにする*/ If(ThisItem.タイトル =User().FullName>Edit,Disabled)

データソース_アプリのデータが保存される場所を2つ用意します。

備品リスト

(Excel のまま使う)

備品ナンバー	備品の種類	備品 ID
仮ナンバー	仮種類	仮 ID
1	surface	1surface
2	surface	2surface
3	surface	3surface
1	Chromebook	1Chromebook
2	Chromebook	2Chromebook
3	Chromebook	3Chromebook
1	iPad	1iPad
2	iPad	2iPad
3	iPad	3iPad

借用者リスト

(SharePoint の list 作成に使う)

タイトル	備品ナンバー	備品の種類	借用日	貸出期間	貸し出し状態
仮タイトル	仮ナンバー	仮種類	仮日	仮期間	借用中

※備品 ID 列の値は被りが無いようにしてください。